

富津市国民健康保険事業運営協議会会議録

1 会議の名称	平成30年度 第2回富津市国民健康保険事業運営協議会
2 開催日時	平成30年8月7日(火) 午後1時33分～午後2時20分
3 開催場所	富津市役所 2階202会議室
4 審議等事項	報告事項 (1) 平成29年度富津市国民健康保険事業特別 会計決算見込について
5 出席者	委員 齊藤千代子 平野順子 齋藤 茂 田邊敬子 熊切篤 山寄智子 福原敏夫 永井庄一郎 松原和江 千倉淳子 蒔田洋 事務局 高橋恭市 島津太 尾形卓信 萱野知 下間節子 栗本聖子 阿形麻衣
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人(定員2人)
9 所管課	健康福祉部 国民健康保険課 電話 0439(80)1271
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

平成30年度 第2回富津市国民健康保険運営協議会会議録

- 1 日時 平成30年8月7日(火) 開会 午後1時33分
閉会 午後2時20分
- 2 場所 富津市役所 2階202会議室
- 3 出席委員
齊藤 千代子 (1号委員)
平野 順子 (1号委員)
齋藤 茂 (1号委員)
田邊 敬子 (1号委員)
熊切 篤 (2号委員)
山寄 智子 (2号委員)
福原 敏夫 (3号委員)
永井 庄一郎 (3号委員)
松原 和江 (3号委員)
千倉 淳子 (3号委員)
蒔田 洋 (4号委員)
- 4 欠席委員
三枝 奈芳紀 (2号委員)
金井 徳彰 (2号委員)
- 5 報告事項
(1) 平成29年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について
- 6 その他
- 7 事務局職員
高橋市長 島津健康福祉部長 尾形国民健康保険課長
萱野国民健康保険係長 下間健康づくり課長
栗本特定健診係長 阿形主任主事

萱野係長

定刻となりました。本日、欠席される旨、ご連絡いただいている方を除いて、お集まりいただいております。

会議を始めます前に、委員の皆様にご報告申し上げます。

富津市情報公開条例第23条第1項の規定により、市の附属機関等である審議会等の会議は、一部の場合を除いて公開で行うべきものとされており、同条第2項の規定により、何人も公開とされた会議を傍聴することができることとされておりますが、いまのところ、本運営協議会を傍聴される方はいらっしゃいませんので、ご報告申し上げます。

それでは、ただ今から、平成30年度第2回富津市国民健康保険事業運営協議会を開会いたします。

お手元の次第により、進めてまいります。

なお、富津市国民健康保険事業運営協議会の委員定数は13名でございます。

本日、11名の委員の方に出席いただいておりますので、その過半数を超えておりますので、事業運営協議会は成立いたします。

それでは、次第の2「会長挨拶」でございます。福原会長からご挨拶をお願いします。

福原会長

皆様、ご苦勞様でございます。

8月に入り、お忙しい中で会議を招集しましたところ、委員の皆様のご協力をいただき、11名の方にご出席いただきまして、ありがとうございます。

今年は各地で体温を超えるような気温を観測して大変暑いですが、毎年、今年は暑いねと言っている気がします。

今日、お集まりいただいたということは、何事もなくこの暑さを乗り切っている健康な証ですですので、今後も体調に気をつけていただきたいと思っております。

今日の議題は平成29年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込についての報告ということでございますので、限られた時間の中ではありますが、皆様から忌憚のない意見を期待いたしまして、挨拶とさせていただきます。

萱野係長

ありがとうございます。

次に、次第の3、「市長挨拶」でございます。高橋市長よりごあいさつ申し上げます。

高橋市長

本日は、公私共にお忙しいなか、御出席賜り誠にありがとうございます。

また、日頃から国民健康保険事業の円滑な運営に、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、7月には千葉県も保険者となった国民健康保険被保険者証と、千葉県が示した標準保険料率を基に当市で決定をした国民健康保険税納税通知書を送付したところでございます。

保健事業といたしましては、特定健康診査を5月14日から随時実施しておりますが、集団検診においては7月末現在において1,928名が受診をしております。集団検診におきましては、10月まで随時実施して参りますので、多くの方が受診できるよう周知してまいります。

また、先ごろ平成30年度保険者努力支援制度の結果が通知され、当市におきましては、千葉県内では54市町村中6位、全国ですと1,7

41市町村中426位という結果でございました。

今後はより上位になるように、改善に努めてまいりたいと考えております。

本日は、この後君津4市の研修会で「保険者努力支援制度について」の講演がございます。委員の皆様におかれましては、この機会を機に、この制度を更にご理解いただければと思います。

本日の会議内容につきましては、報告事項として、平成29年度富津市国民健康保険事業特別会計の決算見込みの1件でございますので、よろしくご報告申し上げます。

萱野係長

それでは、次第の4の議事でございます。富津市国民健康保険条例施行規則第6条に「運営協議会の議長は会長とする。」と規定されておりますので、議事進行は、福原会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

福原会長

それでは、規約に従いましてしばらくの間、議事進行を務めさせていただきます。ご案内申しあげました議事の次第に沿って進めて参ります。報告事項「平成29年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

萱野課長

報告事項の「平成29年度富津市国民健康保険事業 特別会計 決算見込」をご説明申し上げます。

着座にて、失礼いたします。

お手許にございます、資料の1ページをご覧ください。

この決算見込額は、金額を円単位で、平成30年5月末の内容を元に、作成しております。

主な科目について、ご説明申し上げます。

まずは、歳入の決算見込みとなります。

この表の項目についてですが、この表の左半分、左から順に科目、平成29年度予算現額、平成29年度決算見込額、その右に、決算見込額から予算現額の差引き額、さらにその右に参考として、平成28年度決算額を記載し、表の右半分には科目ごとの説明を記載しております。

最初に、①国民健康保険税についてご説明申し上げます。

表の中ほどに、表示を濃くしてあります行が国民健康保険税の計となります。

この行の(b)列をご覧ください。

決算見込み額は、13億859万5,135円、予算現額に対しまして1億3,700万2,865円の減額となる見込みでございます。

これは、当初予算の時点では決算時の収納率を現年度分91.10%、滞納繰越分19.70%と想定しておりましたが、決算見込みでは現年度分が89.50%、滞納繰越分が17.63%となりますため減額になる見込みでございます。

次に、主に国民健康保険税の督促手数料でございます。②使用料及び手数料でございますが、予算現額に対しまして12万5千円減額の47万5千円を見込んでおります。

次に、③国庫支出金でございますが、合計で14億7,052万3,251円と見込んでおり、予算現額に対しまして1億8,843万3,251円の増額の見込でございます。

(キ)の調整交付金における特別調整交付金のうち、経営姿勢が良好

である団体に交付される特別事情分約7,900万円が交付されたことなどから、国庫支出金の全体としては増額となるものでございます。

次に、④の療養給付費等交付金でございますが、この交付金は退職被保険者に係る、保険給付費等の額から国民健康保険税分を控除した額に対して、社会保険診療報酬支払基金から交付されるもので、予算現額から753万9,657円増額の8,163万1,657円と見込んでおります。

これは、平成28年度確定額を算出した結果、確定額と既交付額に不足額があったことによる追加交付があったためです。

次に、⑤前期高齢者交付金でございますが、19億5,068万918円を見込み、予算現額と比較しますと2,588万9,082円の減額の見込みでございます。

当初の見込より交付算定率が減少したことによるものです。

次に、⑥県支出金でございますが、合計で3億7,349万3,203円を見込んでおり、予算現額に比べ717万3,203円の増額を見込んでおります。

これは、その保険者の取組み状況によって交付される、(セ)の調整交付金の特別調整交付金の増額が主な要因でございます。

次の⑦共同事業交付金でございますが、予算現額に比べ2億511万9,669円減額の14億7,282万9,331円を見込んでおります。

千葉県全体で、年度当初に想定していたより、対象医療費の基準額が減少したことなどが要因と考えます。

次の⑨繰入金でございますが、予算現額の6億3,941万2千円に対しまして、9,756万8,259円減額の5億4,184万3,741円と見込んでおります。

これは、一般会計からの繰入金及び基金からの繰入金が減額となる見込みです。

一般会計からの繰入金で予算現額より減額となったものは、物件費繰入金及び出産育児一時金繰入金、支援対策事業分、職員給与費等繰入金でございます。

次の⑩繰越金は平成28年度からの繰越金でございます。954万8,250円と見込んでおります。

⑪歳入の最後、諸収入でございます。

国民健康保険税の延滞金、不当利得や第三者行為求償による保険給付費の返納金などの収入で、3,127万9,721円を見込んでおります。

以上、歳入合計の見込でございますが、予算現額に対しまして2億3,817万4,800円減、対予算比較 -3.18%の72億4,095万8,200円と見込んでおります。

引き続き、歳出につきましてご説明申し上げます。資料の2ページをご覧ください。

まず、①総務費でございます。

これは、国民健康保険を運営するための事務費及び職員給与費で、予算現額から761万3,917円減額の1億5,384万6,083円と見込んでおります。

この歳出分は、すべて一般会計から繰入が行われます。

次の②保険給付費でございますが、保険給付費は療養給付費や高額療養費などで、予算現額に対しまして、1億3,432万9,530円

減額の43億298万8,470円を見込んでおります。

次の、③後期高齢者支援金等でございますが、予算現額から222万2,598円減の7億2,729万8,402円でございます。

当初見込んでいた後期高齢者支援金の加入者一人あたりの負担額が、減少したことによるものでございます。

次の、④前期高齢者支援金等でございます。276万4,280円を見込んでおります。

次の、⑤老人保健拠出金でございますが、1万6,940円を見込んでおります。

次の、⑥介護納付金でございますが、予算現額より296万1,756円減額の3億3,979万6,244円を見込んでおります。

これは、当初見込んでいた第2号被保険者負担額が減少したことによるものです。

次の、⑦共同事業拠出金でございますが、国民健康保険団体連合会で事業運営しており、全ての医療費の額の支払いのための再保険事業であります共同事業に対する拠出金で、千葉県全体では当初想定していた医療費の基準拠出対象額が減少したことなどから予算現額に対しまして、1億9,524万9,272円減額の14億8,270万4,728円を見込んでおります。

次の、⑧保健事業費でございますが、特定健康診査の事業費、短期人間ドックの助成費用やレセプト点検などの費用で、予算現額に対しまして1,244万1,570円減額の、7,358万6,430円を見込んでおります。

次の、⑨基金積立金については、基金の利子分57,993円を基金へ積立をしたものでございます。

次の、一時借入金の利子分として計上しております⑩公債費については、今年度支出はございませんでした。

次の、⑪諸支出金は決算見込として2,596万7,118円を見込んでおります。

内訳としましては、過年度分国民健康保険税の還付金が退職分と併せて1,078万7,968円、超過交付を受けたことによる返還金が1,517万9,150円となる見込みでございます。

以上、歳出合計の決算見込額は71億902万6,688円となり、歳入決算見込額の72億4,095万8,200円から差引き致しますと、2ページの下に記載のとおり1億3,193万1,512円の剰余金が生ずる見込でございます。

しかしながら、実質単年度収支で見ますと、4,244万1,255円の黒字となる見込みでございます。

なお、平成29年度末の国民健康保険基金残高は8億7,625万8,876円を見込んでおります。

以上で、報告事項の「平成29年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」の説明を終わります。

次に、7月13日に、平成30年度分の国民健康保険税額の当初賦課が決定しました。

1人当たりの平均保険税額について、近隣3市も含めて報告します。

木更津市が10万183円、君津市が9万2,636円、袖ヶ浦市が8万7,458円、富津市が8万7,297円で、4市のなかでは一番低い国民健康保険税額となりました。

念のために申し添えますが、今後、被保険者の加入・脱退等により、

保険税額及び順位は変動することがありますのでご注意ください。

福原会長 只今、事務局より説明がありましたが、何かご質問はございますか。

松原委員 歳出の④前期高齢者支援金は276万4,280円の決算額なんですが、平成24年度から平成28年度まで、だいたい100万円を超えていないのですが、平成29年度はなぜ高いのでしょうか。

尾形課長 増額の理由ですが、富津市国民健康保険被保険者の平均に乗ずる前期高齢者1人当たりの負担額が増えたためです。
平成28年度は66円、平成29年度は195円ですので単価が増えたということです。

松原委員 単価は毎年変わるのですか。

尾形課長 毎年変わる可能性があります。

福原会長 他にありますか。

松原委員 先ほど、4市の保険税額の報告がありましたが、富津市が1番低いということで大変良かったと思います。私は今までが高すぎたのだと思いますけれども、その関係で平成29年度決算をもって、他の3市の国民健康保険基金の残高がいくらかわかりますか。

尾形課長 今は資料がございませんので、後日、文書で回答させていただきます。
回答内容：木更津市 413万2,150円
君津市 114万3,798円
袖ヶ浦市 6,372万810円

福原会長 他に何かありますか。
無いようですので、「平成29年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込」について、報告のとおりといたします。
次に、追加の資料で「平成30年度保険者努力支援制度（市町村分）結果」について説明をお願いします。

下間課長 今回の会議では資料についての説明予定はございませんでした。この後の君津4市の研修会で講師から保険者努力支援制度についてお話があると思います。今回は直近で県内の結果が出ましたので、皆様へのご報告も兼ねまして、資料をお配りした次第です。
また、ご質問等いただければ回答いたします。

福原会長 簡単でいいので、資料の説明をしてもらえませんか。

下間課長 富津市は県内では6位ですが、近隣4市の中では袖ヶ浦市と君津市に次いで3番目となっております。
富津市の内訳を見ますと、特定健診は受診率が上がらない関係で150点中70点となっております。県内1位の旭市が65点、君津市が80点ですので県内では高い方の数値でないかと思いますが、150点まで点数が伸ばせますので今後も努力して参ります。

がん検診につきましても受診率が伸び悩んでおりまして、点数がとれておりません。こちらでも受診率が上がるよう努力してまいりたいと思います。

重症化予防に関しては満点を取っております。

後発医薬品促進の関係については他市の平均よりも富津市の点数が低いので、今後の取組について改めたいと思います。

収納率については、納税担当部署と協力して検討してまいります。

福原会長

ありがとうございます。

山寄委員にお伺いしますが、ジェネリックにするには病院と薬局のどちらで言ったほうがいいのでしょうか。

山寄委員

どちらで言っていたいただいても大丈夫です。

4月に薬事法の改正がありまして、なるべくジェネリックを使いましょうということで厚生局から通知が来ています。

今は医師の処方箋が「一般名処方」と言って、薬の商品名ではなくて成分名で処方箋が出るようになってきていますので、患者様にお聞きしながらジェネリックに切り替えるようにしています。

今までは、ジェネリックに変えたくない医師もいらっしゃいまして、処方箋のジェネリック変更不可欄にチェックや医師のハンコが押してあって、薬局のほうで切り替えたり、患者様が希望していてもジェネリックには変えられなかったのですが、4月以降はほとんどの医師が変更可能にしてらっしゃるので、かなりジェネリックに切り替わってきていると思います。

患者様は医師に話していただいてもいいですし、処方箋の薬品欄に「般」と書いてあって成分名が書いてあれば、ジェネリックに変えてもいいということなので、処方箋に成分名で書いてあれば薬局でジェネリックを希望しますと言っていただければ、ほとんどの薬局で対応可能だと思います。

福原会長

私は、ジェネリックを希望しますというシールを保険証に貼っていますが、効果はありますか。

山寄委員

効果はあります。忙しいときは患者様に確認に行くのも大変なので、シールが貼ってあれば切り替えてもいいというふうに判断させていただいて処方します。出来ればお薬手帳にも貼っていただきたいですね。

先発薬品がいいという患者様もいらっしゃいますから、お薬手帳を毎回持って来ていただければ、前は先発薬品とジェネリックのどちらで処方したのか確認して処方できます。お薬手帳はその活用にもなりますので、お薬手帳は持って来ていただくように皆様をお願いしたいですね。

福原会長

他に質問はございますか。

続いて、5のその他ですが、事務局より何かございますか。

尾形課長

特にございません。

福原会長

他に何かありますか。

無いようですので、以上で平成30年度第2回富津市国民健康保険運

当協議会を終了させていただきます。

(午後 2 時 2 0 分閉会宣言)

上記のとおり会議の経過を記載し、事実と相違ないことと証するためにここに署名する。

平成 3 0 年 9 月 日

議事録署名人